

TOPICS

地域とのつながりを大切に



AEDを全営業店に設置(31カ所)

AEDとは、自動体外式除細動器といい、突然の心停止により「心室細動」が発生した場合に、電気ショックを与えて正常な心臓の動きを取り戻すための救命機器です。

AEDは、医療機関だけでなく人が集まる所に設置が推進されていることから、当金庫でも平成20年3月に、ご来店のお客様や近くを通行される方々の心臓発作などに備えて、全営業店のATMコーナーなど合計31カ所に設置しました。緊急時にはご遠慮なくご使用ください。

設置表示ステッカー



導入機器「セコムAED CR Plus」



普通救命講習の受講

平成16年7月より、心肺蘇生法とAEDを使用する救命処置を習得するため、「普通救命講習I」を受講し150名が修了しています。今後も、これらの講習を通じ普通救命技能を持つ従業員の増加を目指します。



但陽ボランティア活動

阪神淡路大震災直後にボランティア活動を開始して丸13年が過ぎ、その間延べ1万3千人を超す職員が携わってきました。

現在も毎日4~6名の職員が、リフト付福祉車両で車いすの方の移動を支援する「移送サービス」と電話回線を使用した緊急通報システム「ベルボックス」を中心に、活動を行っています。

「移送サービス」は、昨年1,442件の移送を行い、この3月には、ご利用の方が延べ1万人を超えました。

「ベルボックス」は、地域の皆さまのご協力をいただきながら、一人暮らしの高齢者や障害の方々の不安が少しでも軽減できればと取り組んでいます。

今後もより多くの皆さまのお役に立てればと考えています。



但陽ボランティア活動

たんよう「ふれあいゲートボール大会」の開催

毎年秋に、神崎郡(姫路市北部地区を含む)のゲートボール協会、朝来地区ゲートボール同好会等の後援により、2つの地区で「ゲートボール大会」を開催しています。いずれも、地域の行事として定着し、参加者同士のふれあいの場として、毎年楽しみにいただいています。

献血活動

《たんよう》の献血活動は、兵庫県姫路赤十字血液センターの協力を得て、平成7年1月から毎年、血液が特に不足する夏と冬に、当金庫本支店などで実施しています。職員と家族だけでなく、広くお客様にもご協力いただいています。

ゴルフコンペ「但陽みどり会」

日頃《たんよう》をご利用いただいているお取引先の皆様の親睦を深めていただくとともに、当金庫の役職員との交流を図る場として、毎年、春に全店を8ブロックに分けゴルフコンペを開催しています。今年で45回を数え毎回多数の方のご参加をいただき、大いにお楽しみいただいています。

たんよう「旅行友の会」



たんよう「旅行友の会」

《たんよう》旅行友の会は、毎年春と秋に1泊2日の旅行を実施しています。昨秋は、しまなみ海道を通り「きのえ温泉」への旅を企画、「大山祇神社」参拝や「呉・大和ミュージアム」を見学、秋の瀬戸内を満喫していただきました。

また、今春は、残雪の立山連峰眺望と魚津「金太郎温泉」の旅を企画、「越前竹人形の里」や薬問屋を見学、おわら風の盆で有名な「八尾町・諏訪町通り」散策、国宝「瑞龍寺」参拝等、春の富山をお楽しみいただきました。